

令和3年度 北海道シニアサッカー連盟 第3回常任理事会 議事録

1. 日 時 令和4年2月26日(土)15:00~17:00
2. 会 場 STV北2条ビル B1F 会議室
3. 出席者 14 名
【出席】松本・工藤・三浦副会長、佐藤英理事長、伊東・二川副理事長、小田中(web)・小笠原・眞木・小林・松本真・水落・飯田(web)常任理事の 13 名
【オブザーバーweb 出席】神谷理事
【欠席】西川会長、小坂副理事長、佐藤晃・松本健・亀山・吉田常任理事の 6 名
4. 会長挨拶 三浦副会長より
・西川会長欠席により、三浦副会長よりご挨拶、世の中の情勢(コロナ禍)もありますが、連盟としては新年度に向けていつも通りの準備をしていきましょう。
5. 議 題
 - 5.1 報告事項
 - 5.1.1 2021 年度第2回常任理事会議事録(令和3年11月13日実施)……………佐藤英理事長
・資料のとおり。
 - 5.1.2 2021 年度地区別シニア種登録チーム及び登録人数(HKFA) (1028 現在) ……佐藤英理事長
・JFA 登録している 118 チーム中、2 チーム(ピンク網掛け)は連盟に加盟せず、3 チーム(黄色網掛け)は夕張の大会が中止になった事も影響してか今年度の登録が無かったが、引き続き加盟登録を呼びかけていきたい。
 - 5.1.3 2021 年度各種大会報告……………二川副理事長
・資料のとおり、3月の全道フットサルを含めコロナの影響で多くの大会が中止となった。
JFA 0-50 サッカー大会(11/27-29 栃木県宇都宮市)……………佐藤英理事長・二川副理事長
・結果は資料の通り、強豪の集まるリーグで苦戦し力不足を感じたが良い経験が出来た。
(1) フットサルオープン大会 (3/5-6 滝川 コロナの影響で中止)
 - 5.1.4 シニア部会報告(R4 年 2 月 21 日_Web ミーティング)……………二川副理事長
・2022 年度の 0-50 の会場が千葉県市原市に決定された。 他、開催地・要項等は資料を参照の事。
・高校サッカーOB 交流会についての報告があり、当日の内容などは HP をご覧頂きたい。
・金田喜稔氏を招いて行ったものと同地ようなシニアサッカークリニックを JFA でも企画される。
・北海道からの要望として 0-50 で使うボールを軽量球からノーマルボールに変更して欲しい事を提案。 他地区からも同様に意見が上がったが、モルテンへの発注・在庫の関係等で直ぐには変わらないが今後はその方向になる見通し。
・全国 0-60・70 大会での女子のミックス化の希望をだしたが、70 もフェスティバルでは無く正式大会となった為難しいとの回答。 各地区へのアンケートを JFA に依頼したので今後フェスティバル等で出来る可能性がありそうだ。(女子の年齢制限は 60 では 40 以上、70 では 50 以上)

5.1.5 各地区報告(フットサル等)・・[資料なし]

【道央】

- ・TIOSリーグを12月～3月前8回で40×15チーム・50×13チームで開催している。まん延防止等重点措置期間であるが、体育館は通常通り利用できるため、コロナ対策をしながら開催している。参加が困難なメンバーがいるため試合を辞退するチームがあった場合は交流戦に変えたり日程を調整するなどの対応をしている。(小林常任理事)
- ・60(土日)リーグと65・70(水)リーグを行っている。65・70(水)リーグはエンジョイから競技性の高いリーグに変わりつつあると感じている。会場のii-oneが取りづらくなっているため来年は回数が減るかもしれない。(松本副会長)

【道南】

- ・フットサルリーグは行っていない。チーム毎に夏に向けての練習を行っている状況。
(小笠原常任理事)

【道東】

- ・シニア連盟としてのフットサル大会は行っていない。個人参加型のフットサルや、11月と3月に室内サッカーという扱いでフットサルの大会を開催している。(松本真常任理事)

5.2 協議事項

5.2.1 R4 年度事業計画(案).....佐藤英理事長

- ・資料のとおり。 ※60リーグの会場・日程変更部分を修正する

5.2.2 主管大会の地区希望調査について.....二川副理事長

- ・資料のとおり

5.2.3 R4 年度シニア事業開催要項.....二川副理事長

- ・全道フットサルのベンチ入り人数を登録人数に合わせ、登録者全員が出場可能となった。

5.2.4 R4 年度 HKFA 予算要求について.....二川副理事長

- ・昨年11月に一括補助金を100万円で予算要望を出したが、理由無く前年と同額の97万円の要望額にされた。選手数とチーム数等何か規準があるとしたら女子委員会との整合性が無く思われるが、チームを集め辛く組織の無い女子は支援が手厚くなっていると思われる。10代毎の登録でチーム数を増やす様に言われて頑張ってきたが、それが予算には全く反映されないなら今後の年代別を考えなおしてもいいのではないかと意見もあった。

ただ、HKFAから全委員会の内示額を公表されるようになったのは好ましい。

なお、連盟内での予算のやりくりは可能である。新年度の夕張大会は初の6面展開となり経費がかかることから予算より超過すると思われる。

5.2.5 2021 年度決算見込み及び 2022 年度予算案.....伊東副理事長

- ・前回常任理事会からほぼ収支に変わりがないので、今回は説明を省略。

- 5.2.6 R4 年度連盟登録料及び 70 部門支援金……………伊東副理事長
- ・今年度の連盟加盟登録料は、昨年度はコロナの影響で満足な活動が出来なかったため ¥25,000 を ¥20,000 に減額した。今年度も中止の大会が多かったので来年度の登録料も ¥20,000 とする事が提案された。
- 本来理事総会で決議すべきではあるが、新年度の登録案内が 3 月中に行われる為この常任理事会での承認となった。なお、新規参加チームと今年度未登録チームは従来とおり ¥25,000、¥70 部門は 10,000 とする。
- ・JFA 団体登録を必要として始めた 70 部門に対し今年度から 3 年計画で行っている費用の連盟負担は、新年度は 2 年目で半額補助をすることが確認された。
- なお、3 年目からの補助は無し。
- 5.2.7 シニア連盟 20 周年記念事業及び進捗状況【祝賀会中止、表彰・記念誌】……………工藤副会長
- ・延期になっていた祝賀会は中止とし記念誌のみ発行し、記念誌は 3~4 月に完成し 4~5 月に発送予定。
 - ・概ね 80 才以上の連盟登録選手の方を対象に、石塚・西沢氏は特別功労賞(仮)、他は永年競技者表彰(仮)としてトロフィーと記念品(ワインの予定)を進呈する予定。候補者は資料参照。
- 5.2.8 連盟規約について……………佐藤英理事長
- ・連盟役員の年齢制限・在任期間について見直しをしたい。現行他地区協会等は定年制と在任期間の縛りが無い。シニア連盟としては今後 70 部門 80 部門の増加も見込まれ、若くして役員になった優秀な人材の流出を防止するねらい。縛りを緩和したいが、持続可能な組織である為に新陳代謝も必要と考えられる。定年年齢を+5 才、在任期間を+1 期(全 8 期 16 年以内)を目安に継続協議したいと考えている。
- 規約上の在任期間にはとられないが、適時新陳代謝がきちんと行われ健全な組織である事が大切であると三浦副会長からの助言があった。
- 5.2.9 R4 役員選考委員会……………佐藤英理事長
- ・2 月 19 日に役員選考委員会を開催し、選考案を理事総会で報告審議決定される予定。
- 現西川会長は十勝地区サッカー協会副会長職に専念したいご意向と、ご自身の仕事の都合で会長職を退任される。西川会長より松本副会長を次期会長に推薦があり、小笠原常任理事を副会長にと考えている。常任理事に新たに函館地区・道央地区の 40 部門・60/70 部門からの常任理事を増やしてはどうかと考えている。
- 5.2.10 マッチコミッショナー資格について……………佐藤英理事長
- ・現在シニア関連でのマッチコミッショナー保持者は多数いるが、シニア種の大会では必須とされていないので、シニア連盟として更新手続き費用を負担するのは理事長とシニア委員長の 2 名分に限定することとなった。
- 5.2.11 連盟 HP リニューアルについて……………佐藤英理事長
- ・チーム紹介が掲載される様になった。HP を見て加入希望者から問い合わせが複数あったのは嬉しい。写真未掲載チームはデータの提出をお願いしたい。
- HP を見て何かあれば連絡を頂きたい。

5.2.12 各種勉強会について……………佐藤英理事長

- ・資料の通り。新年度になったら立ち上げ、任期中(2年)を期間とする。
特に女子部門については今後のシニアの中でもかかわってくると思うので機会を設けたい。
審判部門も曖昧なところを整理する機会としたい。

5.3 その他

- ・令和3年度理事総会 4月16日(土)15:00~17:00 STV北2条ビル地下会議室
- ・令和4年度第1回常任理事会…道北地区(旭川・士別・名寄)で開催したい

以上